

## 公益社団法人日本地震学会 2022 年度第 4 回理事会議事録

1. 日 時 2022 年 9 月 21 日 (水) 09:30~11:55
2. 場 所 新型コロナウイルス感染拡大予防のため Zoom を利用したビデオ会議により開催  
議長：東京大学地震研究所 東京都文京区弥生 1-1-1  
議事録作成者：日本地震学会事務局 〒330-0845 埼玉県さいたま市大宮区仲町 2-80-1 KS・Dio 205
3. 理事数 15 名
4. 出席者 理事 14 名, 監事 2 名
  - ・理 事：小原一成, 吾妻 崇, 新井隆太, 安藤亮輔, 勝俣 啓, 加納靖之, 河合研志, 篠原雅尚, 利根川貴志, 西村卓也, 久田嘉章, 松島信一, 三井雄太, 室谷智子
  - ・監 事：山岡耕春, 横井俊明
  - ・事務局：中西のぶ江, 岡野美紀子

### 5. 審議事項

議長小原一成は、理事 14 名及び監事 2 名出席のもとに理事会を開催した。出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり適時的確な意思表示が互いにできる仕組みを確認後に、以下の議案について審議に入った。

#### 第 1 号議案 謝金等支給規定\_別表改正について

事務局より、東京都の最低賃金(時給)が謝金等支給規定の別表で定める金額を上回ったことから、別表の改定について説明が行われた。今回の改定では時給の金額を明記せず、謝金を支出する事業の担当理事が勤務地等の状況に配慮し、仕事内容に見合った時給を設定する改正案が提案された。審議の結果、会計担当理事が各事業の時給金額の把握に努めることとし、原案の通り別表の改正を承認した。

#### 第 2 号議案 選挙制度検討 WG の設置について

小原会長より、理事会で意見交換を行っていた選挙制度検討ワーキンググループの設置について提案された。構成員、検討依頼事項及び調査項目例が提示され、半年程度を目途に理事会に報告する選挙制度検討ワーキンググループの設置を承認した。なお、ワーキンググループには会長もオブザーバー参加できることとし、必要に応じて、ワーキンググループでの検討内容を理事会に適宜フィードバック可能であることを確認した。

#### 第 3 号議案 入会承認について

河合常務理事から、入会申請者の承認に関する件について諮られ、審議の結果、正会員に申し込みのあった 64 名(内学生 53 名)の入会を全会一致で承認した。また、提出された学生会費適用申請書を承認した。

## 6. 報告事項

以下の報告があった。

1. 事務局より，退会者2名が報告された。

2. 西村理事（表彰担当）より表彰活動の活性化策に関するワーキンググループでの検討内容について報告が行われた。日本地震学会賞は推薦委員会を設けることが望ましいが，制度設計を行う必要があるため来年度の選考から実施すること，今年度については他薦の打診を行うなどを検討する。日本地震学会賞の制度設計の検討が進められていることに関しては，秋季大会時の授賞式の会長挨拶で触れることとした。論文賞は多くの論文を推薦しやすくする工夫を欧文誌運営委員会から対象誌のEPSやPEPSに打診することとした。その他，新たに設置する賞について検討を行ったことが報告された。新しい賞については授賞対象の定義をしっかりと定めることが重要であるとの意見があった。また，技術開発賞の推薦手順の検討について質問があり，それについては推薦委員会を設ける検討は行っていないとの説明があった。

3. 三井理事（地震編集担当）より，業務執行報告が行われた。地震（学術論文部）の編集状況について冊子体9月号及び会員専用ページに3編を掲載したこと，投稿中の9編の編集作業を行っていることが報告された。また，2021年度の若手学術奨励賞受賞者へ解説記事の寄稿を依頼したことが報告された。

4. 新井理事（学会情報誌担当）より，業務執行報告が行われた。『地震（ニュースレター部）』及びメールニュースの発行を滞りなく行っていることが報告された。9月号には7月の特別シンポジウムの写真を表紙としたことが紹介され，学会の各事業の実施報告をニュースレターに投稿してほしいとの依頼があった。その他，ニュースレターのバックナンバーの公開準備の進捗状況について説明された。

5. 勝俣理事（大会・企画担当）より業務執行報告が行われた。2022年度秋季大会及び一般公開セミナーは対面で実施することが報告された。また，今後の大会開催予定として2023年度秋季大会は2023年10月31日～11月2日にパシフィコ横浜，2024年度秋季大会は2024年10月21日～23日に朱鷺メッセで開催予定であること，2025年度大会は九州大学の会員有志にLOCを引き受けていただいたことが報告された。

6. 篠原理事（広報担当）より業務執行報告が行われた。2022年8月23日に委員会を開催したこと，広報紙なみふる11月号及び2月号の進捗状況，学会への質問対応，ホームページに掲載している各機関の公開イベントの取りまとめ情報の掲載及び更新頻度，秋季大会期間中の10月24日に開催する記者懇談会について報告された。

7. 西村理事（海外渡航旅費助成）より業務執行報告が行われた。2022年度後期海外渡航旅費助成への応募が5件あり、審査の結果3件に助成予定であること、航空運賃の高騰から全額助成ではなく上限を設けた助成とすることが報告された。

8. 利根川理事（欧文誌運営担当）より、業務執行報告が行われた。EPS基金について監査中であり、監査終了後に理事会で報告を行う予定であること、監査をEPSの運営に近い人がやることについて意見があり、監査役の選出について検討を行っていることが報告された。また、EPS運営分担金について資料が提示され、来年度の分担金について次回理事会で審議予定であるが、地震学会が拠出する分担金額について意見があればお願いしたいとの依頼があった。

9. 松島理事（強震動担当）より業務執行報告が行われた。秋季大会期間中に委員会を開催予定であること、第39回強震動研究会を2022年10月23日に札幌市で廣瀬氏（北海道立総合研究機構）を講師に迎え開催予定であること、強震動講習会を11月29日に日本活断層学会、日本地震工学会、物理探査学会との共催としてハイブリッド形式（現地会場は東京大学地震研究所）で開催予定であること、SSJ-SSA合同ワークショップ”Future directions in physics-based ground-motion modeling”（2023年10月2日～10月5日（予定）、カナダ・バンクーバー）の進捗状況、NLシリーズの単行本の進捗状況について報告された。

10. 加納理事（学校教育担当）より業務執行報告が行われた。教員サマースクールを2022年8月20日～21日に参加者20名（内訳：教員・大学生10名、講師3名、ガイド1名、委員6名）、鳥取県境港市で開催したこと、事業費の予算超過があり会計担当理事と相談予定であること、次年度の実施にあたり保険加入を検討していること、2022年7月9日に教員サマースクールの打ち合わせを開催したこと、秋季大会でのポスター発表準備及び教員サマースクールのなみふるへの寄稿の打診が報告された。

11. 吾妻理事（災害調査担当）より業務執行報告が行われた。2022年8月2日に開催された防災学術連携体の「防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会（第4回）」及び2022年度定時総会に出席したこと、日本地球惑星科学連合環境災害対応委員会において、来年のセッションが検討される予定であることが報告された。また、防災学術連携体の幹事である松島理事より2023年7月8日に予定されている関東地震100周年特別企画への協力依頼があった。

12. 加納理事（普及行事担当）より業務執行報告が行われた。2022年度の地震火山地質子どもサマースクールを2022年8月17日～18日に参加者25名、スタッフ35名で開催し、荒天の中プログラムの入れ替え等の対応を行い無事にサマースクールで学んだことを発表するフォーラムまで終えたこと、実施報告については各学会で行う予

定であること、次年度のサマースクールの準備状況、秋季大会でのポスター発表の準備状況について報告された。

13. 室谷副会長（ダイバーシティ推進担当）から業務執行報告が行われた。JpGU2022 期間中の保育託児利用に対する一部補助事業について会員からの申請はなかったこと、秋季大会における託児補助事業に現在 5 件（6 名）の利用希望があり準備を行っていること、2023 年度秋季大会での託児室の検討状況について報告された。託児室運営については大会に付随するものであることから、託児会場の確保、運営は大会・企画委員会で担当してはどうかとの意見があり、託児室運営方法について今後検討することとした。その他、一般社団法人男女共同参画学協会連絡会における加盟学会の 2021 年女性比率調査結果が紹介された。

14. 西村理事（表彰担当）より業務執行報告が行われた。井上學術賞に 1 名の会員を学会推薦したことが報告された。

15. 久田副会長（連絡会議担当）より業務執行報告が行われた。7 月 22 日に開催された連絡会議の議事録が提示され、委員の交代や検討事項などが説明された。2022 年 7 月 23 日に開催される特別シンポジウムの実施報告、12 月 24 日に開催を予定している第 2 回特別シンポジウムの企画紹介、来年の「関東大震災から 100 年」に関する行事等に関する情報共有についてなどが報告された。第 1 回特別シンポジウムの動画を会員限定で公開準備中、アンケートの回答については参加者に周知する予定。特別シンポジウムの開催意義として、国から出される様々な情報が必要な人に理解されることが重要であるとの意見があった。

16. 中川理事（ジオパーク支援）の代理として河合常務理事から業務執行報告が行われた。10 月 27 日に開催する洞爺湖有珠山ジオパーク巡検を予定通り実施することが報告された。

17. 室谷副会長から東京国際消防防災展への企画協力について打ち合わせを行ったことが報告された。日本地震学会への企画協力依頼は講演及び企画展示で、詳細な企画については連絡会議において検討する。

## 7. 意見交換

以下の意見交換があった。

1. 小原会長より 2022 年 10 月 12 日に開催を予定している日本地震工学会との会長懇談会において、日本地震学会から提案する話題について検討していることが説明された。地震学会からは 7 月に開催した特別シンポジウム及び今後予定している特別シンポジウムについて話題提供してはどうかとの意見があった。なお、第 2 回特別シン

ポジウムは日本地震工学会に共催を依頼してはどうかとの意見があり、連絡会議で検討することとした。